

439人が完走!

新春マラソン大会

曇り空の1月8日、新年恒例の第28回新春マラソン大会が、役場前駐車場をスタート・ゴールとして行われました。

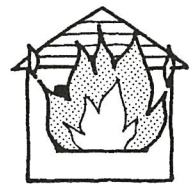
439人の参加者は、小・中学生、親子、一般の部に分かれ日頃の健脚ぶりを競い合いました。選手は家族、友人のたくさん声援を受けながら力走し、全員無事に完走しました。優勝者は次のとおり(敬称略)



〔小学生の部〕

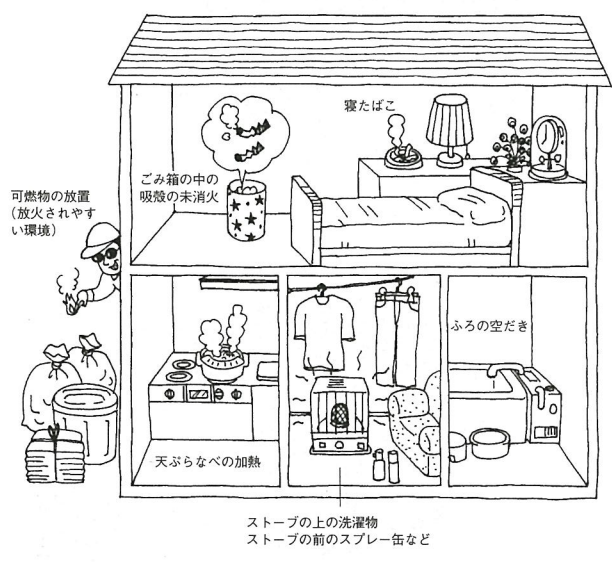
▼1年男子900メートル	小林 嵩輝(東陽)
▼1年女子900メートル	片岡 英理(日吉)
▼2年男子900メートル	鈴木 雅也(日吉)
▼2年女子900メートル	布施 琴美(日吉)
▼3年男子900メートル	長谷川 直也(東陽)
▼3年女子900メートル	青柳 千花(日吉)
▼4年男子1・6キロ	市原 弘樹(東陽)
▼4年女子1・6キロ	溝口 理紗(東陽)
▼5年男子1・6キロ	吉田 俊軌(白浜)
▼5年女子1・6キロ	越川 幸奈(東陽)
▼6年男子1・6キロ	行方 真太郎(日吉)
▼6年女子1・6キロ	古橋 麻衣(東陽)
〔中学生の部〕	
▼男子2・8キロ	浅野 雅之(2年)
▼女子1・6キロ	平山 理恵(2年)
〔親子の部〕	
▼900メートル	須合 崇・勇介(小川台)
〔一般の部〕	
▼2キロ	塚本 誠(宮内)

春先は空気が乾燥しています。小さな火にも気をつけて。



春の全国火災予防運動 3月1日～7日

住まいの中の危険をチェック!



空気乾燥と強風で被害が大きくなりやすい。春は降水量が少なく、空気が乾燥しており、強風が吹くといった気象条件のため、火災が発生したときの被害が大きくなりやすい傾向があります。

春の行楽シーズンで屋外での活動が増えることもあり、住宅火災だけでなく、林野火災が最も多くなる時期にもなっています。

出火原因は日常の中もう一度、防火の確認を「まさか、うちが火事になるな」

火災に「まさか」はありません。もう一度、「寝たばこはしない」「揚げ物のときは火のそばを離れない」「ストーブの付近に干し物をしない」など、防火の基本を実行することが大事です。

しかし、出火原因を見てみると、そのほとんどは、たばこやたき火、ガスコンロ、ストーブなど、日常生活のちよつとした不注意によるものなのです。

不幸にも家族を亡くしたり、家を失ったりした人たちは、口をそろえて言います。